

時間管理の

ノウハウを学ぶ!

「時間」は限りある財産

「選択と集中」で最大の利益を!!

広酪は、役職員全員を対象とした役職員合同研修会を開催した。今回は、(株)ヴィタミンM代表取締役 鈴木真理子さんを講師に迎えて、「時間管理のノウハウ」を学んだ。また、隅屋寒三専務から「組織力の更なる進化」と題して、役職員に業務遂行への動機付けを行った。

■信頼、そして迅速・的確な情報伝達の出来る職員を求めろ!!

山本武組合長(挨拶骨子)

▼年頭に職場環境の活性化、明るい職場作りに向けて来訪者への礼儀礼節を求めたが、事務所内が明るくなつたとの意見を頂戴している。更にマンネリ化せず、時間軸に沿った業務執行と常に新しい発想と向上心をもって行動してほしい。

▼組合員からは日常業務で信頼できる職員、迅速・的確な情報伝達の出来る職員が求められている。組合員との「絆」が大事であり、組合に課せられた責任を認識し、精度の高い事務遂行と相互扶助の精神をもって組合運営にあたってほしい。

▼自らが理解出来ることも、相手に伝えるには十分な知識と情報、そして工夫が大切であり、自己研鑽にあたってほしい。



■伝達研修のイロハ 組織力の更なる進化に期待

代表理事専務 隅屋寒三

▼冒頭「協同し目的を達成する集団として一段の躍進を!」と呼びかけ、現状の酪農情勢を踏まえる中で、今後の展望と取り組みをまとめた「中期三年計画」を実行する上で、「組合組織として何をすべきか」、「役職員がどのように行動すべきか」意識醸成を含め役員に呼びかけた。





■時間を武器にする仕事術

株式会社ウイタミンM代表取締役

鈴木真理子講師

定時に百二十%の結果を出す時間管理術を身に付けることを目標に掲げ、三項目に区分した内容から説明を受けた。

あなたは「野球型」、

それとも「サッカー型」?

▼今求められている職員像は、決められた時間内に最大限のパフォーマンスが発揮できる職員で、今は一昔前の「五時から男」ならぬ時間を気にせず残業を一生懸命にやる時代ではない。いわば、ゲームがゆっくり進む時間にとら

われない野球と比べて、時間制限のある中で瞬発力をもってプレーするサッカーに例えて、「サッカー型職員」が求められていると強調された。そのためには、「緊急度」と「重要度」、「直ぐに出来ること」、「直ぐに効果が出ること」から優先順位を決めて改善する必要がある。

▼自分に合った管理法を見つける

▼年間スケジュールから月間、一日、時間と物事は全体を捉えてから部分を見るクセ付けをして、手帳や携帯電話などそれぞれに合ったスケジュール管理をもつて「見える化」すべきである。また、処理事項を整理した「ToDoリスト」をもつて進捗確認をすることによって、確実な事務処理が可能となる。

信頼は思いやりと

的確な時間管理から生まれる

▼スケジュール設定には、相手の立場も考える中で、時間的余裕をもつて、前倒しで処理することが大事である。

この思いやりと的確な対処が、相互の信頼関係となり、円滑な業務執行が可能となる。

時間の無駄を減らす作戦

▼役員が入り混じってグループに分かれ、現状における問題把握を行い、これに対して、「失くす」、「減らす」、「変える」の業務改善の三原則に基づき討議を行った。改善にあたっては、人・モノ・金・時間の制約条件もあるが、改善目標、計画、効果を数値化することによって、この達成を図ることがポイントとまとめられた。



無駄をはぶくとは.....



(グループ討議の様子)

(まとめ)
▼講師は「時間は限りある大切な財産であり、選択と集中をもって、大切な業務に集中し、高品質な商品・サービスと利益を得る結果をだすことが大事。そのためには時間管理術を身につけましょう!」と締めくくられた。
参加した役員は、時間を意識して今後の業務等にあたることを決意した。